

皆様の温かいご協力ありがとうございました!

報告

平成28年度 赤い羽根共同募金実績

募金総額 10,452,193円(前年比 100.14%)

募金内訳

募金種別	募 金 額	内 容
戸別募金	8,853,121円	各家庭を対象とした募金です。一世帯420円の目標額を設定し、町内会ごとに取り組んでいただいた募金です。
街頭募金	33,636円	10月1日の募金開始日にらぼーると舞鶴港どれどれセンターで、10月22日、23日に赤れんがフェスタで、11月6日にましてフェスタで、それぞれ来場者等に呼び掛けた募金です。
法人募金	467,593円	法人格を有する株式会社や有限会社などからの募金です。
学校募金	45,451円	市内の小中高等学校の児童・生徒に呼び掛け、福祉教育の一環として取り組んでいただいた募金です。
職域募金	511,319円	従業員等が100名以上の企業に呼び掛け、従業員等を対象に取り組んでいただいた募金です。
その 他	541,073円	個人や法人格を有しない団体からの募金、民生児童委員等からのバッチ募金、市内各所に設置した募金箱による募金です。
合 計	10,452,193円	

募金は
舞鶴市の地域福祉事業へ
使われます

お寄せいただいた募金は、一旦京都府共同募金会に送られ、追って募金の約80%が舞鶴市内に配分されます。
高齢者や障がい者、子育て世代やひとり親家庭への支援、ボランティア活動支援大人用紙おむつ割引券発行、福祉車両貸出事業、備品貸出事業など、平成29年度地域福祉活動事業に活用させていただきます。
ありがとうございました。

赤い羽根データベース「はねっと」 皆さまから寄せられた寄付金が、どのように有効に活用されているかを
<http://www.akaihane.or.jp/hanett> インターネットを使って知っていただける配分情報の検索システムです。

報告

平成28年度 峰末友愛運動募金実績

募金総額 5,023,858円(前年比 97.16%)



募金内訳

募金種別	募 金 額	内 容
戸別募金	4,753,275円	一世帯200円の目安額を設定し、町内会ごとに取り組んでいただいた募金です。
個人・団体募金	270,583円	ボーイスカウト、ガールスカウト等、峰末友愛運動募金の趣旨に賛同し、募金活動をしていただいた個人・団体からの募金です。
合計	5,023,858円	

お寄せいただいた募金は次のように配分させていただきました。

配 分 内 訳	金 額
地域の要援護世帯へお贈りしました。(合計48世帯)	500,000円
在宅障がい児の方へお贈りしました。(合計194名)	1,940,000円
福祉施設・病院やひとり暮らし高齢者への友愛訪問活動などのボランティア活動を支援しました。(10団体)	206,573円
紙おむつの割引券を届けました。(1,116名)	1,413,000円
障がい者等の当事者団体、児童養護施設等へ贈りました。(6団体、7施設)	620,000円
その他(事務費等)	377,400円
合 計	5,056,973円

※募金総額と配分額が一致しないのは繰越金等によるものです。

お礼

ご寄付をいただいた方々

貴重なご芳志をありがとうございました。
有意義に活用させていただきます。

- 認知症を抱える家族を援助する会 様
- 舞鶴運転ボランティア ひまわり会 様
- 他 匿名 2名様 合計 98,000円 <平成28年12月23日～平成29年3月24日受領分>



まいづるのふくし

第196号

発行日／平成29年3月



もくじ
contents

- 報告 みんなにやさしい地域づくりセミナー開催 2
- 報告 子どもたちに福祉に関心をもってもらおう 2
- 報告 地域の誰もが安心して暮らせるように 3
- 報告 地域まるごと支えあいフォーラム 高島市 3
- 報告 平成28年度 赤い羽根共同募金運動実績 4
- 報告 平成28年度 峰末友愛運動募金実績 4
- お礼 本会へご寄付をいただいた方々 4

(表紙) 舞鶴市社会福祉大会

平成29年1月28日 舞鶴市政記念館

46名の方が舞鶴市長表彰、47名の方が社協会長表彰を受賞。

中丹東保健所の講演では、「オレンジロードつなげ隊」の活動から、支えあいの心を学びました。写真は講演中のひとこま。

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

(舞鶴市ボランティアセンター、舞鶴市共同募金会事務局、舞鶴災害ボランティアセンター)

〒625-0087 舞鶴市字余部下1167 (中総合会館 3F)

TEL.0773-62-7044 FAX.0773-62-7039

E-mail maizuru-shakyo@jasmine.ocn.ne.jp

URL <http://www.kyoshakyo.or.jp/maizuru/>



※この広報紙の作成には、皆さまからお寄せいただいた赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

まいづるのふくし

社会福祉協議会事業を報告します

報告 みんなにやさしい地域づくりセミナー開催

2月19日、舞鶴市政記念館で開催しました。32名の方にご参加いただき、対人援助技術の基礎を学んでいただきました。

社会福祉協議会より「舞鶴市の現状と地域支えあいサポーターの活動」と題して、少子高齢化が進行する舞鶴市の現状と、地域の支えあいの必要性をご説明した後、華頂短期大学武田康晴教授が「地域で支えあう力がアップする対人援助技術」と題して講演。対人援助を行う際の心がまえから実践までの基礎を学びました。



▲熱心に聞き入る参加者の皆さん

▲武田先生の
楽しい講義

「地域支えあいサポーター」とは…

誰もがその人らしく、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域の中で声のかけ合いや見守り合いの活動を行うボランティアです。舞鶴市内には約50名の方が登録しています。このセミナーを受けた参加者の中からも新たに6名の方が「地域支えあいサポーター」に登録されました。

報告 子どもたちに福祉に関心をもってもらおう

小・中学生に福祉への理解と関心をもってもらうために、福祉の現場でご活躍の方を講師にお迎えし、福祉体験学習を行いました。和田中学校（1年生）と倉梯第二小学校（4年生）で実施しました。



倉梯第二
小学校

▲アイマスクをしたまま
自分の名前が書けるかな?



▲車イス体験。みんな真剣に
説明を聞いています



▲体験を通して学んだことをお世話になった
講師の先生方の前で発表しました

京都府北部福祉人材確保事業に協力し、小・中学生に「福祉」に理解と関心をもってもらい、将来的に福祉への理解をもった人を育てる目的で実施しています。アイマスクによる視覚障がい者の体験や手引き体験、車イス介助体験、高齢者体験、高齢者施設実習など、支援が必要な方への理解を広げる学習を実施しました。

これ以外にも、社会福祉協議会では市内の各小・中学校で実施されている福祉教育に対し助成も行っています。



和田
中学校

▲まずは地域福祉について
学びます



▲高齢者の体験セットを装着
歩くだけでも大変です



▲京都市で開催された
合同発表会で発表しました

報告 地域の誰もが安心して暮らせるように

高齢者、障がい者、子育て家庭などの孤立を防ぎ、地域における住民主体の見守り、支えあいなど、誰もが安心して暮らし続けられる地域を目指して、民生児童委員協議会・ボランティア団体と協働で事業を実施しています。



余部上・下
民児協
クリスマスの集い



森
民児協
生き生きモーニングサロン



城南
民児協
子どもも大人もお餅つき大会



田辺
民児協
子育てサロン



舞鶴
手話サークル
つたの会
ふいんがー4 人形劇講演会



朗読
ボランティア
木曜会
声のたよりやまびこ愛聴者交流会

報告 地域まるごと支えあいフォーラム 高島市

滋賀県高島市で開催されたフォーラムへ住民福祉活動研修会として地域支えあいサポーター やサロンの活動者など合計25名の方が参加しました。



今回参加したフォーラムは、住民を含めた多様な主体が総ぐるみで様々な取り組みを展開している高島市の状況から、参加者が「我が事」として、自らの地域の生活や福祉活動について考え、行動するきっかけにすることを目的に開催されています。同志社大学の上野谷教授の基調講演をはじめ、高島市で展開されている住民福祉活動を学び、刺激を受けました。

各地域で活躍されている参加者の方同士も大いに交流し、舞鶴においても地域をまるごと支えあう地域づくりをすすめていこうと決意を新たにしました。



笑顔いっぱい 参加者同士の交流も